

高野新聞

Vol.83



たかの
高野 たけし
無所属 43歳

逗子市議会議員（4期）

- ・教育民生常任委員会委員長
- ・議会運営委員会委員
- ・議会活性化推進協議会委員

高野たけしの活動報告 ～住みやすいまちづくりに向けて～

6月9日～23日の日程で、平成28年第2回定例会が開催されました。今定例会においても市民の皆様から頂いたご意見をもとに一般質問を行いました。（以下に一部掲載）

◆ ゴミ処理広域化は今後どのように進められるのか

5月31日、逗子市、鎌倉市、葉山町の2市1町でゴミ処理広域化検討協議会が発足されました。すでに、逗子市が焼却と容器包装プラスチックの処理を、葉山町が植木剪定枝とし尿の処理を担う方向で検討を進めている中であって、今後このゴミ処理連携に鎌倉市が加わってくるのであれば、鎌倉市はどのような役割を担っていくことになるのか、また逗子市の役割は変わってくるのか質したところ、まずはそれぞれの自治体の実態を情報共有した上で役割分担を協議していきたい旨の回答が市長よりありました。

今回の広域連携によって、スケールメリットが得られる形をしっかりと構築していただきたいと思っています。

◆ 感震ブレイカーの助成制度の創設を提案

近年、大型の地震が各地で発生していることもあり、多くの自治体で地震対策が進められている現状にあります。本市においても様々な視点からの対策が講じられてきていますし、各個人においても備蓄食料の保管や避難経路の確認など、確実に地震に対する意識は高まってきているものと感じています。しかしながら、地震火災への対策を行っている家庭はそれほど多くないことから、神奈川県が平成27年度に創設した「市町村減災推進事業費補助金」を活用した制度を本市でも設置すべき旨提案したところ、まずは普及に向けた啓発活動を行い、近隣市町の動向も見ながら制度の創設を検討していくとの回答が市長よりありました。

市町村減災推進事業費補助金とは？

感震ブレイカーの設置に対して市町村が市民に補助する額の2分の1を県が補助するもの。

政治資金の残り **あと 5,438円**

(3/1～5/31の内訳)

支出…ポスター掲示用プラダン	2,814円
ポスター掲示用両面テープ	1,116円

◆ 美しい逗子海岸を守るために

海岸で発生したゴミを海岸と駅の間でポイ捨てされないようにするため、逗子海岸にはゴミ箱が3ヶ所設置されています。実際ゴミ箱があることによって当該地域へのポイ捨てゴミは減少していることが推察されますが、反面、海岸に設置してあるゴミ箱にはゴミが溢れ不衛生な上、カラスによる被害も深刻な状況となっています。

そこで、こうした現状を改善するために対策を講じるよう提言したところ、啓発活動を強化するとともに、ゴミ箱を大きくするなどして改善を図っていくとの回答が担当部長よりありました。

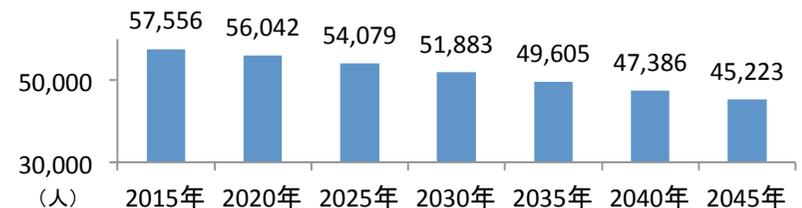
訪れた人が気持ちよく過ごせる場所となるよう、私も清掃活動を行いながら、引き続きチェックしていきたいと思っています。



◆ 転入促進が人口維持のポイント

昨年行われた国勢調査の速報値によれば、本市の総人口は56,492人となっており、すでに人口減少が始まっていることは明らかです。今年3月に発表された「逗子市人口ビジョン」を見ても、2025年には55,000人を切り、2035年には50,000を切るとの推計値も出されていることから、市長の掲げる人口維持を目指すのであれば、転入促進に力を入れていかなければならないと考え、市のHP等を使って市外に対するPR活動を強化すべき旨提案したところ、インターネットを活用したシティプロモーションに取り組んでいくとの回答が担当部長よりありました。

逗子市人口推計値



Topics

◆ 市役所内に「未病センター」を開設予定

神奈川県では超高齢化が進行する中、健康寿命を延ばし、高齢になっても誰もが健康に暮らし、長生きして幸せだったという社会を実現することを目指して、平成26年1月に「未病を治す神奈川宣言」を発表しました。そして、病気の発症や老化による心身の機能低下の発現の前段階、及び発症・発現後において、生活習慣(食・運動・社会参加)の改善によりできる限り健康な状態に近づけることを目的とした「未病センター」の設置を県内の各自治体に求めています。

こうした取り組みを受け、逗子市においても市役所1階に「未病センター」が開設することになりました。ここには、「メタボ」、「血圧・血管年齢」、「ロコモ度」、「認知機能」を測定するための機器を置いた各コーナーに加え、面談ルームが併設される予定となっています。この未病センターには職員も常駐することになりますので、機器の使用方法や相談など気軽にお声をかけてください。開設は10月頃を予定しているとのことです。

また、未病を治すことを目的に、第一運動公園内に健康遊具を設置することになりました。無理なく筋力と柔軟性のアップが可能となる遊具が選定されていますので、お散歩の途中などに使ってみてはいかがでしょうか。こちらは9月頃に設置される予定とのことです。

◆ 「逗子市津波ハザードマップ」が改訂

今回の改訂では、想定外をなくすため過去発生した複数の大規模地震を勘案し、津波の浸水被害エリアと津波の到達時間・高さが見直されています。

逗子海岸においてはこれまで明応地震を参考に、第一波の到達は地震発生8分後、最大津波(8.9m)は59分後に到達するとしていましたが、今回の見直しで元禄

関東地震タイプを想定した6.2mの津波が10分後に、相模トラフ沿いの海溝型地震(西側モデル)を想定した10.4mの津波が11分後に襲ってくるとしています。

また、小坪海岸では慶長型地震を参考に、第一波の到達は地震発生13分後、最大津波(13.6m)は81分後に到達するとしていましたが、今回の見直しで元禄関東地震タイプを想定した7.1mの津波が9分後に、相模トラフ沿いの海溝型地震(西側モデル)を想定した12.8mの津波が11分後に襲ってくるとしています。

備えあれば憂いなし、新しい「逗子市津波ハザードマップ」でお住いの地域を確認してみてください。



どーなっているの？

市民の皆様からいただいたご意見、ご要望にお答えするコーナーです。

近所に住む子育て中のお母さんから、「久木4丁目の公園(子ども遊び広場)にガラスの破片が複数落ちていて、遊びに来ていた小さい子どもが口の中に入れてしまうこともあり危なかった。」との、話を聞きました。幸い、ガラス片を口に入れてしまった子どもにケガは無かったとのことでしたが、特に小さいお子さんと遊びにくるお母さんは心配でならないと思います。

早速公園に行き園内を見て回ると、中央付近は遊びに来ているお母さん達が拾ってくれたのでしょうかほとんど落ちていませんでしたが、外周に沿った場所で多くのガラス片を回収しました。

その後、公園を管理する緑政課に話をしたところ、市内の公園においては2ヶ月に1度の頻度でパブリックサービスに清掃を委託しているとのことだったので、今後はガラス片等の危険物にも目を配った清掃をしていただくよう要請いたしました。



【公園で回収したガラス片】

緑政課からは、清掃時の危険物のチェックに加え、定期清掃以外においても当該公園においては当面見回り等を行い安全管理に努める旨の回答がありました。

この地域には公園も少なく、多くの子ども達が集まる場所となっていますので、楽しく安全に遊べる公園として維持していければと思っています。

あなたの声を高野たけしへ

市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せ下さい。



Tel / Fax: 046-871-7368

E-mail: takano_zushi@yahoo.co.jp